

「自利利他」

令和七年三月二十五日 於加茂法話会

先日、蔵出し古民具専門店で古い一升枡を購入しました。枡は計量のための道具。淵に施された金属板は、道具を長く生かすための工夫。使われるほどに角がすり減り、その姿は変わっていく。「諸行無常」どんなに丁寧に作られても、時間とともに摩耗し、形が変わる。でも、それは壊れていくのではなく、「役割を果たし続けた証」。

身を削り 人に尽くさん すりこぎの

その味知れる 人ぞ尊し

「己を削りながら人の役に立つ」すりこぎの詩とも重なりました。使い込まれた道具から困難にあっても利他の心を持ち続けた姿の尊さを知り、そのように自身も尊べるよう精進したいものであります。